

院生会活動内容

院生会は三鷹国際学生宿舎に居住する大学院生で構成されています。院生会では互いに協力をしながら、様々な活動を行っています。ここでは近年の活動を紹介します。基本的な活動は以下の4つになっています。

【留学生受け入れ】

4月と9月に、新入留学生の受け入れを行います（詳細は後述）。

【チュータールーム（TR）】

基本的に毎週火曜日と木曜日（留学生受け入れの4月と9月は回数を増やす）の週2回、21時~23時に、留学生の生活全般、学習面のサポートを行うため、TRを開いています。日本語の宿題、撤去された自転車の引き取り、自転車や家電の購入方法など、様々な相談を受けています。また、相談ではなくおしゃべりに来る留学生もおり、留学生との交流の場としての役割も担っています。

【月例会】

月に一度、院生全員が集まって月例会（院生のミーティング）を開催します。ここでは予算、各種行事に関する事など、院生会の活動について話し合います。

【各種交流イベント】

宿舎生と留学生の交流の場となるイベントを実施します。

以上の活動は基本的に院生会全員で取り組んでいます。2015年度・2016年度は以下のような活動を行いました。

4月:新入留学生受け入れ・歓迎会

新規の入寮留学生を対象に、宿舎やその周辺の情報の提供、また生活全般に関わる宿舎の規則（ゴミの捨て方、火気に関する注意）などを説明します。宿舎や大学での生活に早くなじんでもらうこと、またチューターの顔をなるべく早く留学生に覚えてもらい、円滑にサポートをするための基盤をつくることを目的としています。説明は日本語、英語で行います。留学生と新入居者のための歓迎会も実施します。

7月末:Farewellパーティー

7月末~9月末に退寮する留学生の送別会を行いました。三鷹宿舎共用棟で、留学生や院生の有志によるパフォーマンスを交えたパーティーを開きました。

9(10)月:新入留学生受け入れ・歓迎会

秋にも数十人（約70名）の留学生が新たに入居します。4月期と同様に、宿舎生活の説明を行い、宿舎周辺、吉祥寺駅への自転車での道等を案内するツアーを行いました。また、住民票登録や定期券購入に付き添いました。日本語が話せない留学生もいます。日本に来るのが初めての人も多いので、4月以上に、丁寧な対応が必要です。

1月:新年会

お正月を留学生に体験してもらおうと同時に、留学生が学部生、院生と交流を深めることを目的として新年会を企画しています。餅つきやお雑煮など、正月文化の一端を留学生にも体験してもらいます。

その他

春の消防訓練では、消火器の使い方や避難経路の説明などを通訳しました。院生会は、4月、9月の受け入れに限らず、留学生が日常生活に早く慣れてもらえるようお手伝いしています。バスの乗り方や、買い物の会計、ゴミ捨て、ATMの振り込みなど、一つ一つが留学生にとっては自分の国とは違うので、特に日本語が話せない留学生は戸惑うことが多いようです。留学生が多く来る月の初めは休日に一緒に買い物に行ってほしいと頼まれることもあります。

各種イベントやその他の行事では、企画、広報活動、実施の全てを院生で行っています。形にはまることなく、みんなでアイデアを出し合って実行しています。留学生の生活をお手伝いしたり、相談や質問を聞いたりする中で、自分の親しんできた文化のバイアスの存在を初めて認識することも多く、チューターをしているととても勉強になります。

物事を企画、実行する力のある院生が入ってきてくれるととてもありがたいです。

以上